

令和8年度 九州地区母子保健事業研修会開催要領

1 目 的

周産期メンタルヘルス支援は、妊産婦やその家族が安心して出産・子育てができる環境を整える上で、重要なテーマとなっており、切れ目のない支援の実現のためには、多職種・多機関が連携し、地域全体で支援体制を構築することが求められています。

本研修会では、地域医療の中核病院において助産師としての経験を有し、現在は、心理職として、支援に携わる講師をお招きし、地域全体で取り組む周産期メンタルヘルスケアについて考える機会とします。また、持続的な支援のためには、支援者自身の心身の健康を維持することも重要であることから、笑いによるストレスマネジメントの効果や実践方法についても学びます。

本研修会を通して、周産期メンタルヘルス支援に関する知識と実践力の向上を図るとともに、地域における支援体制の充実及び関係者の資質向上につなげることを目的とします。

2 主 催 佐賀県、一般社団法人日本家族計画協会

3 後 援 こども家庭庁、公益社団法人日本助産師会

4 日 時 令和8年10月14日（水）10：00～15：30

5 場 所 HOTELグランデはがくれ 1階 ハーモニーホール (佐賀県佐賀市天神2丁目1番36号)

6 対 象 者 九州地区各県および市町村の保健・福祉・医療行政担当者、保健師、助産師、 看護師、保育士、その他関係者等

7 内 容 「家族と支援者を包む Well-being ～ここに寄り添う支援へ～」

9：30～10：00 受付

10：00～10：10 開会

10：10～10：50 行政説明 「最近の母子保健を取り巻く状況」

講師 こども家庭庁成育局母子保健課

11：00～12：30 講演①「多職種・地域連携で取り組む周産期メンタルヘルスケア」

講師 済生会横浜市東部病院 心理室 課長 相川 祐里 先生
助産師／臨床心理士

12：30～13：30 昼食・休憩

13：30～14：00 日本家族計画協会からの情報提供

14：00～15：30 講演②「笑いによるストレスマネジメント

― 支援者自身のメンタルヘルスのために ―

講師 福島県立医科大学医学部疫学講座 教授 大平 哲也 先生

15：30 閉会

8 申込方法 下記 URL もしくは QR コードよりお申込みください。

【インターネット】 <https://logoform.jp/form/jbBd/1701761>

【LGWAN】 <https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/jbBd/1701761>

申込締切：令和8年9月30日（水）



- 9 その他
- ・昼食は各自でご用意ください。
 - ※研修会場内での飲食は可能です。
 - 団体での弁当発注や受け取りはご遠慮ください。
 - ・原則、公共交通機関をご利用の上お越しください。

プログラム

(講演タイトル・講師などは、一部変更になる場合があります)

時 間	内 容
9:30～10:00	受 付
10:00～10:10	開会・挨拶
10:10～10:50 (40 分)	【行政説明】最近の母子保健を取り巻く状況 講師：こども家庭庁成育局母子保健課
11:00～12:30 講演 (90 分)	【講演①】「多職種・地域連携で取り組む周産期メンタルヘルスケア」 講師：済生会横浜市東部病院 心理室 課長 相川 祐里 先生
12:30～13:30 (60 分)	お昼休憩
13:30～14:00 (30 分)	日本家族計画協会からの情報提供
14:00～15:30 講演 (90 分)	【講演②】「笑いによるストレスマネジメント — 支援者自身のメンタルヘルスのために —」 講師：福島県立医科大学医学部疫学講座 教授 大平 哲也 先生
15:30	閉会